

読んでわかる神経心理学

八田武志・吉崎一人・東川麻里著
A5判・184頁・2色刷・定価2530円

本書は、神経心理学をはじめて学ぼうとする方のための教科書です。公認心理師制度発足を踏まえ、さまざまな状況下で多職種で構成されるチームにおいて心理職がコミュニケーションをとることを想定し、脳と行動の関連についての基礎的な知識を得ることができるよう努めました。視覚的な理解にも配慮し、図表類を多く用いて2色刷としました。心理職を目指す方におすすめの一冊です。

主要目次 神経心理学とは 脳の解剖学的基礎 脳の側性化——左右大脳半球機能差 物体認知とその障害 注意とその障害 言語の障害 行為の障害 記憶の障害 遂行機能(実行系機能) 神経心理学の研究法と神経心理学検査

読んでわかる心理学

清水寛之・瀧川真也・槇 洋一・山本晃輔著
A5判・216頁・2色刷・定価2640円

本書は、これから心理学を学ぼうとする方に向けた入門・概説書です。各論や専門領域に向かってさらに学習を進めたいようになるように、図表やイラストをふんだんに載せ、心理学の世界をわかりやすく説明します。また、日常生活の出来事や具体例を数多く取り上げることで、心理学への興味・関心を促し、学習への動機づけが高まるように努めました。心理職を目指す方の導入ともなる一冊です。

主要目次 心理学とは——心と行動の科学 感覚と知覚 学習 記憶 思考と意思決定 知能とコミュニケーション 生涯発達 パーソナリティ 動機づけと感情 神経生理学的基礎 社会と文化 臨床実践と心理的支援 メンタルヘルス

グラフィック社会心理学 第3版

池上知子・遠藤由美著

A5判・344頁・2色刷・定価2970円

本書は、定評ある社会心理学入門テキストの最新版です。旧版の骨子を踏まえつつ、近年の学問動向が十全に反映されるよう編成しました。第Ⅰ部「社会的認知」では、社会的世界と自分自身の認識について、第Ⅱ部「他者との関わり」では、社会的存在としての人間の特質を、第Ⅲ部「社会で生きる」では、人間が社会でよりよく生きるためには何をすればよいかについて、解説しています。

主要目次 社会心理学とは 対人認知 社会的推論 態度 感情 社会的自己 自己と他者 人間関係 集団と個人 愛他性と援助 攻撃性 偏見と差別 健康と幸福 社会と人間——持続可能な社会に向けて

新版 チームワークの心理学

持続可能性の高い集団づくりをめざして

山口裕幸著
四六判・232頁・定価2090円

本書は、チームワーク研究をやさしく解説した好評書の改訂版です。初版を基に、重要な研究成果や新しい研究テーマを加え改訂しました。組織の中で率直に意見を述べ合うことのできる心理的安全性に関する研究や、コロナ禍を経て大きく変わった組織コミュニケーションのあり方を踏まえた内容へと加筆・修正しています。優れたチームワークを育み、それを発揮するヒントともなる一冊です。

主要目次 チームワークを心理学的に研究することの意味 チームワークを可視化する——測定への挑戦 チームワーク発達論——チームワークが生まれるメカニズム チームワークの効果性——チーム・プロセスへの影響 優れたチームワークを育むには チームワークの社会心理学的研究のこれから